



# 黒須田だより

横浜市立黒須田小学校 学校だより

# 9月号

令和4年8月29日

学年の様子など、ホームページもご覧ください。 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kurosuda/>



## つまずいたって いいじゃない

校長 平岡 仁樹

夏休みがあけて、子どもたちが学校にもどってきてくれました。嬉しい限りです。

この夏休みに、「にんげんだもの」で有名な書家である相田みつをさんの本を読みました。数多くの残された作品の中から、二つ紹介したいと思います。

わたしは 無駄にこの世に生まれてきたのではない  
また人間として生まれてきたからには 無駄にこの世を過ごしたくない  
私がこの世に生まれてきたのは 私でなければできない仕事が  
何か一つこの世にあるからなのだ  
それが社会的に高いか低いかわからない そんなことは問題ではない  
その仕事は何であるかを見つけ そのために精一杯の魂を 打ち込んでゆくところに  
人間として生まれてきた意義と生きてゆく喜びがあるのだ

「誰にだって必要とされることがあるのだから、精一杯がんばってみるとよい。」と励まされるような力強い言葉です。

## つまずいたって いいじゃない にんげんだもの

相田さんは、この詩について「何もしなければつまずかない。何かしているからつまずくのだ。」と話されていたそうです。

二つの詩から、「どんな人にもこの世界で必要とされることがある。だから、それを見つける事ができるまで、いろいろなことに挑戦してみなさい。つまずくこともあるだろうが、やってみることが大切です。」と応援されているように感じました。

学校生活でも、まずは目の前の課題や自分が挑戦してみたいことを「やってみる」。その結果、成功体験だけでなく時には「つまずく」という体験をしても「いいじゃないか。」ととらえることができたなら、子どもたちはたくましく成長できるのだと思います。だからこそ、私たち大人は、子どもに寄り添い、励まし、応援し、時には一緒に悔しがったり反省したりすることで、子どもたちの失敗を恐れず挑戦し続ける心を育てていかなければいけないと改めて感じました。

9月は前期の学習のまとめの時期になります。子どもたちが、何事にも安心して挑戦することができるよう職員一同取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。